

7 活動成果の概要、所見

・活動内容と所見

京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟として、顧問の森口府議会議員、建設部より吉岡部長、中川課長を随行者として要望・陳情活動をおこなった。

《防衛省近畿中央防衛局》



近畿中央防衛局では、米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、京都府が実施している主要地方道浜丹後線及び一般府道間人大宮線の整備、また、昨年から主要地方道網野岩滝線外村バイパスの整備への多大な支援を頂いており、感謝を伝え、京都府において事業中の下記の道路工事の早期完成と必要な予算確保について引き続きのご支援をお願いした。

- 主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）
- 主要地方道浜丹後線（宮バイパス）
- 一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）
- 主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

《国土交通省近畿地方整備局》

山陰近畿自動車は、日本海沿岸の国土軸を形成する重要な道路であるが、日本海側唯一の高速道路空白地となっている。

近年では、自然災害が頻発化・激甚化しており、災害に対する備えは喫緊の課題だ。

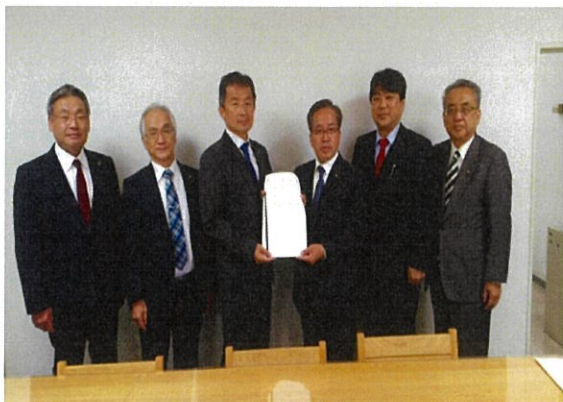
また、新型コロナウイルス収束後の地域経済の回復と物流・観光等の経済活動復興のための道路整備として、

大きく寄与する道路であり早期開通をお願いし、網野から兵庫県までの区間について以下の3点の要望を伝えた。

- 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの早期事業化
- 兵庫県豊岡市までの区間について地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に向けた本調査の実施



《京都府建設交通課》



道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたり発展してゆくうえで重要な課題だ。

近年発生する豪雨災害では防災力強化の必要性が再認識されており、広域幹線道路網の整備が不可欠として、山陰近畿自動車道の推進と緊急輸送道路の整備について以下の要望をおこなった。

- 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 大宮峰山インターチェンジから 網野インターチェンジまでの早期事業化
- 網野インターチェンジから豊岡市までの区間について、ルート決定に向けた本調査の実施
- 防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保を図られたい

8 成果物、資料等 別添、資料のとおり

近畿地方整備局

要望書

(案)

令和2年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路の空白地帯になっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

また、近年発生している地震災害や豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも都市部と連結する広域幹線道路網の整備が重要不可欠です。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。
- 3 兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期のルート決定を図られたい。

令和2年11月6日

近畿地方整備局

局長 溝 口 宏 樹 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 惠 一

副会長 水 野 孝 典

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 浜 岡 大二郎

幹 事 和 田 正 幸

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

櫻 井 祐 策

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

永 井 友 昭

鳴 海 公 軌

東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

近畿中部防衛局

要望書

(案)

令和2年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

米軍経ヶ岬通信所設置に関連する道路整備に関する要望書

防衛省におかれては、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、京都府が実施している主要地方道浜丹後線及び一般府道間人大宮線の整備に対して多大な御支援をいただいております、厚くお礼申し上げます。また、昨年度から主要地方道網野岩滝線外村バイパスの整備に御支援いただいて、たいへん感謝しています。

国内で2例目となるミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、我が国の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設であると考えています。

しかしながら、京丹後市内においては、まだまだ道路整備が十分ではなく、米軍関係者による交通事故が発生しており、防衛施設に対する住民の理解を得る上でも、道路整備は切実かつ喫緊の課題となっています。

また、道路は、近年頻発激甚化する自然災害への対応や緊急輸送・避難路として、ますます重要な役割を持つ社会インフラとなっています。さらには、防衛施設への連絡道路は、いかなる状況下にもアクセスが確保される信頼性が不可欠であり、早急の整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものと確信しています。

つきましては、現在、京都府において事業中の下記道路事業が早期に完成するよう、必要な予算確保と更なる御支援を賜りますようお願い申し上げます。

主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）

主要地方道浜丹後線（宮バイパス）

一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）

主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

令和2年11月6日

近畿中部防衛局

局長 梶 賀 政 浩 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 惠 一

副会長 水 野 孝 典

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 浜 岡 大二郎

幹 事 和 田 正 幸

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

櫻 井 祐 策

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

永 井 友 昭

鳴 海 公 軌

東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

京都府

要望書

(案)

令和2年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路の空白地帯になっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

また、近年発生している地震災害や豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも都市部と連結する広域幹線道路網の整備が重要不可欠です。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。
- 3 兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、早期のルート決定を図られたい。
- 4 防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保を図られたい。

令和2年11月6日

京都府知事 西 脇 隆 俊 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 松 本 聖 司

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 松 本 聖 司

副会長 池 田 恵 一

副会長 水 野 孝 典

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 浜 岡 大二郎

幹 事 和 田 正 幸

金 田 琮 仁

川 戸 一 生

櫻 井 祐 策

多賀野 一 彦

富 田 恵 輔

永 井 友 昭

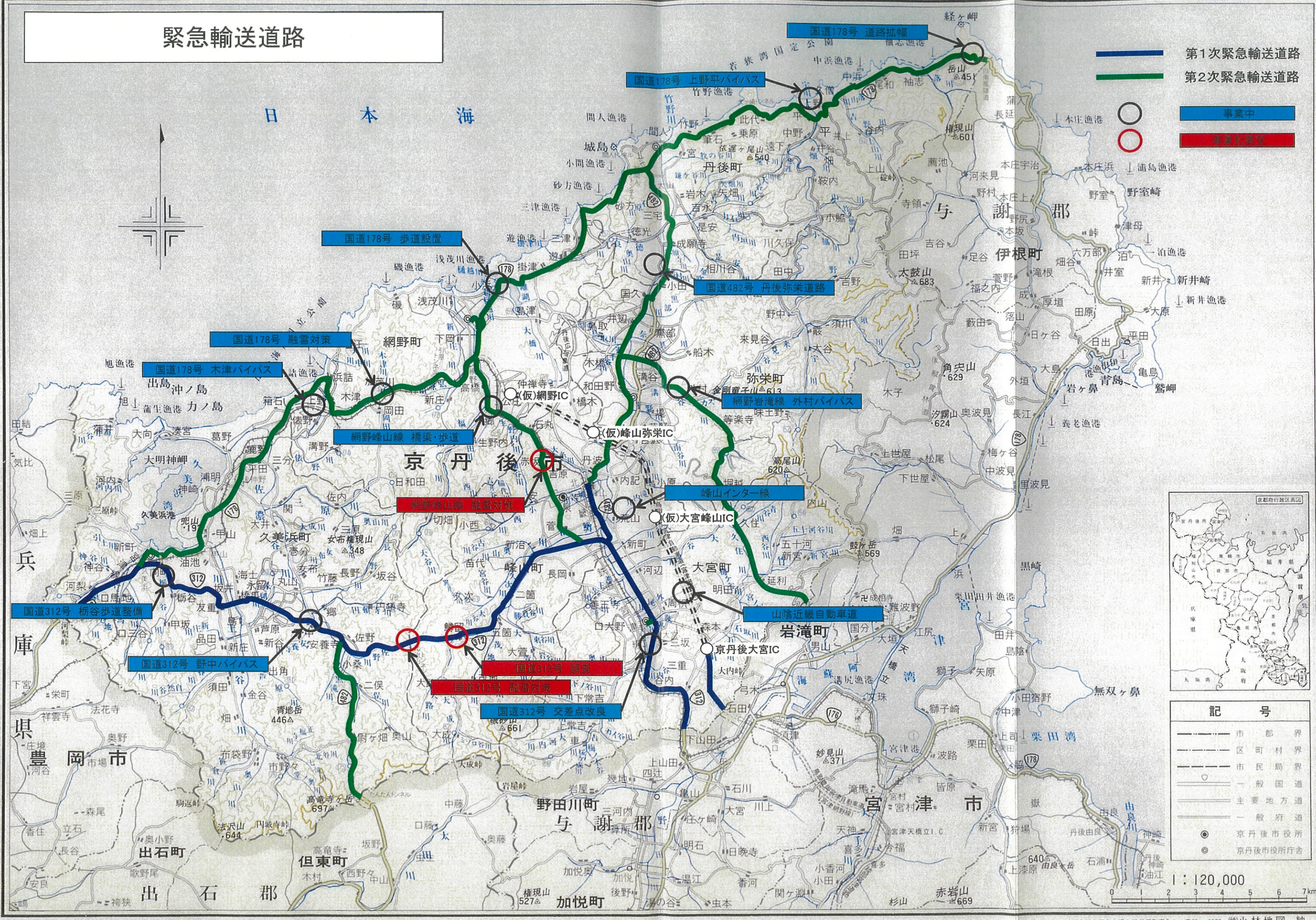
鳴 海 公 軌

東 田 真 希

平 井 邦 生

和 田 晋

緊急輸送道路



記号	
—	市界
—	区界
—	町界
—	村界
—	市民局界
○	一般国道
—	主要地方道
—	一般府道
●	京丹後市役所
◎	京丹後市役所庁舎

1 : 120,000
0 1 2 3 4 5 6 7 km